

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第24号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成20年9月6日（土） 10時20分ごろ	
発生場所	東京湾北部 東京港中防信号所から真方位260° 1,450m付近 (概位 北緯35° 36.6′ 東経139° 47.7′)	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を横浜地方海難審判理事所から引き継ぎ、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 引船 5号<sup>さんえい</sup>三栄丸、19.52トン 235-31791 神奈川、株式会社齊藤組</p> <p>B モーターボート シーガル38、2.6トン 230-49548 東京、株式会社江戸川造船所</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	B 負傷 4人（打撲、擦り傷）	
損傷	<p>A 右舷側長さ約10～40cmの擦過傷4箇所</p> <p>B 船首右舷側外板上端にき裂を含む擦過傷、右舷船底部擦過傷、プロペラ曲損</p>	
事故等の経過	A船は、船長が1人で乗り組み、京浜港川崎区扇島から同港東京区有明に向け、台船をえい航中、B船は船長ほか6人が乗船し、マリナーを出港し、お台場に向けて航行中、平成20年9月6日10時20分ごろ、東京湾北部において、A船右舷側とB船右舷船首部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、汽笛を吹鳴していないことから、B船に気付いていなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船は、A船が背景に紛れて良く見えなかったことから、衝突するまでA船に気が付かなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、東京湾北部において、A船が台船をえい航中、B船が航行中、両船とも他船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	